



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社マキタ (A)

5

— 新社長 榎田 裕：会社を継ぐ息子の役目 —

毎年9月の連休に開催されるK大学ビジネススクールの同窓会に、榎田 裕氏は久しぶりに参加した。父から社長を継いでちょうど1年余り。同じように家業に戻った同窓生や先輩の話が聞きたかった。運良く二次会は会社を継いだ仲間と、居心地のよいバーのカウンターを囲むことになった。

10

「銀行に2年いて、ロンドン留学までしたけど、結局金融業よりも実業かなと思ったんだよね。親父の会社に入って、今は営業改革を進めている。何かと反対する役員がいてね。親父（社長）は思い切って進めろって言うけど、進める方はしんどいよね。」

「俺も手堅く銀行に入ったけど、親父（社長）に呼び戻されたんだ。親父はスナック菓子の開発が大好きでね、結構ワンマンなところもあって、それで手広く開発しちゃうんだ。会社への思い入れもあるから、軌道修正しながらマネジメントするのが俺の役目かなと思っているよ。」

15

ホテルに戻って、榎田氏はふっと何とも言えない不安に駆られた。バーでは、家業を継ぐ大変さを共有し、高揚感に満ちていたが、一人になってみると、改めて自分が社長としてこの1年進めてきた改革が良かったのか、答えのない疑問が押し寄せてきた。「後継者」として何も知らずに会社を継いだところもあるからなおさらである。そして、他人の成長がまぶしくも見えた。

20

「俺は、社長として、成長しているのか？」

「この先、社長としてどう成長していけばいいのか？」

25

「会社の進む方向は、これでいいのか？」

このケースは株式会社マキタ社長榎田裕氏と会長 榎田實氏からの全面的な協力を得て作成した。謝意を表す。ケース作成者は高木晴夫、鶴ヶ谷理子、吉澤康代、反田和成である。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 高木晴夫、鶴ヶ谷理子、吉澤康代、反田和成 (2017年12月作成)